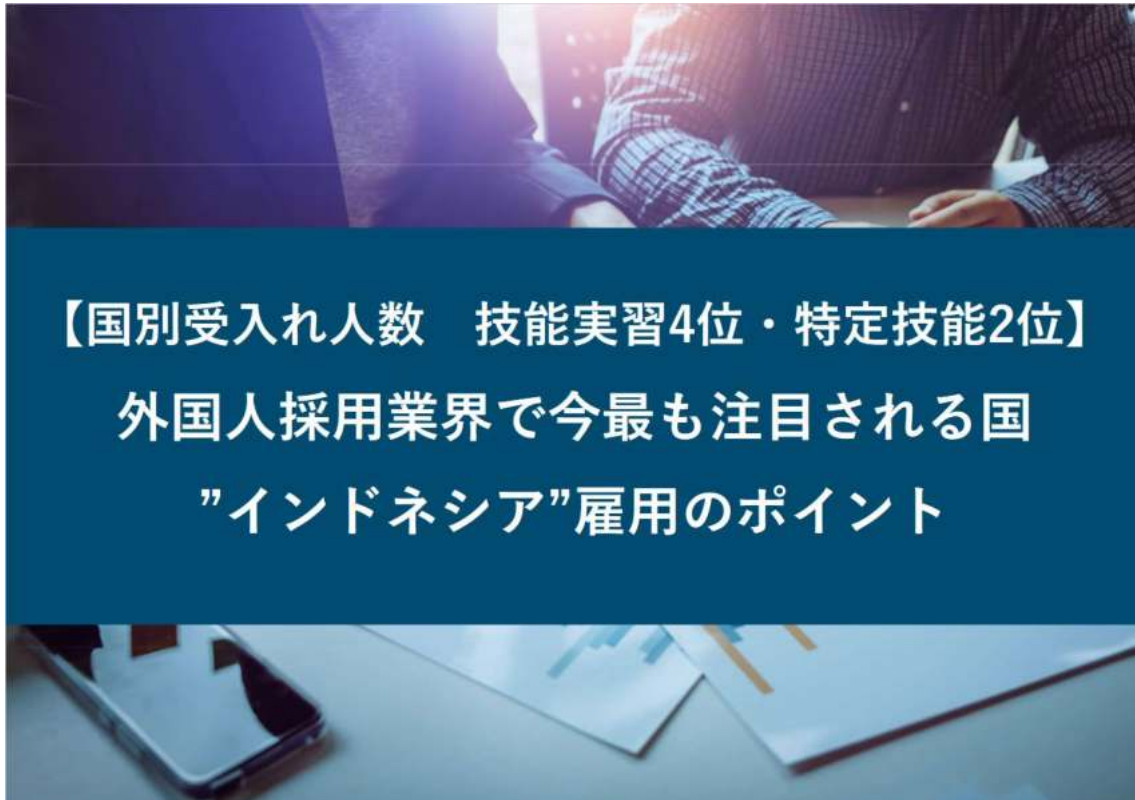


GMS セミナー実施レポート

■インドネシア人材採用に関するセミナーに 38 名が参加！



当日の WEB セミナーには、すでに技能実習や特定技能などを活用して外国人材を雇用する企業様から検討中、または活用予定のない企業様にいたるまで、合計 38 名の担当者様にご参加いただきました。今回は特に検討中の企業様が 12 名と約 3 分の 1 を占めるなど、インドネシア人材の採用に対する関心の高さが伺えました。

今回のセミナーは二部構成となっており、第一部ではインドネシア送出機関日本駐在業務担当である株式会社 IJFA の世羅陽一郎氏を講師に招き、「インドネシアの実状と提携送出機関の取り組み」をテーマに提携送出機関の特色などについて解説。第二部では外国人材を採用する企業の課題解決を行っている株式会社キャムテックの鮫島慎吾が「インドネシア技能実習生受入れプロジェクト」の紹介を通じて、インドネシアの実情と採用についての解説を行いました。

■セミナーの主な内容

第一部：「インドネシアの実状と提携送出機関の取り組み」

- ・インドネシアという国について
- ・インドネシア人を受け入れる際の文化、慣習の違いについて

・提携送出機関の特色（教育や取り組み）

インドネシア共和国

Republic of Indonesia



政体

大統領制
共和制

元首:

ジョコ ウィドド大統領
(2019年10月20日再任・任期5年)



人口

2.75億人

世界4位

東南アジア1位

(2022年インドネシア政府統計)



首都

ジャカルタ

人口1,064万人
東京の人口と同じくらい

(2022年インドネシア政府統計)



労働人口

1.43億人

全人口の68.63%
15歳～64歳
(2022年インドネシア政府統計)

全人口平均年齢:

29歳

(日本: 48.6歳)

© 2023 IJFA Co.,Ltd All Rights Reserved.

言語 Language

Aa

公用語

インドネシア語

現地の言語数

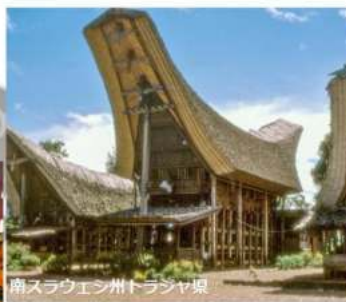
726語

ジャワ語、マドゥラ語、バリ語等



同じ民族でも
地域によって
言語の違いがある

敬語の文化がある



南スラウェン州トラジャ県



東ヌサトゥンガラ州スンパ島

© 2023 IJFA Co.,Ltd All Rights Reserved.

宗教 Religion

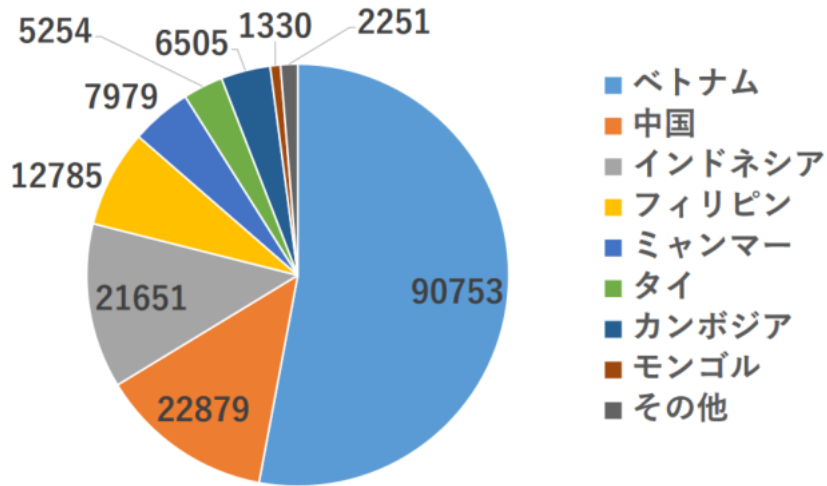


…第一部ではインドネシアがどのような国なのか、政治から気候、通貨、言語、文化や宗教など詳細にわたって特徴を紹介。さらに新型コロナウイルス感染症に関する現地の状況や対策、提携送出機関の取り組みにいたるまで、具体的な解説を行っていただきました。

第二部：「インドネシア技能実習生受入れプロジェクト」

- ・インドネシア技能実習生受入れプロジェクトの概要
- ・技能実習生受入れのリスクと対策
- ・プロジェクトの流れ、スケジュール

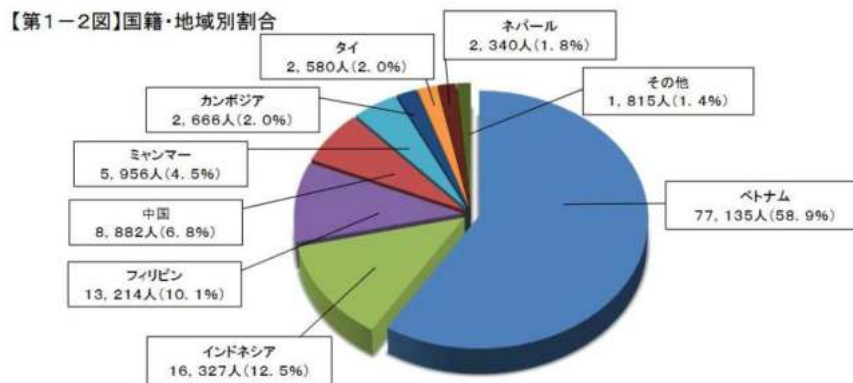
国籍・地域別技能実習計画認定件数 令和3年



外国人技能実習機構業務統計

特定技能国籍・地域別在留人数 令和4年12月

在留人数 130,915人
前年同月比 263%



出入国在留管理庁

インドネシア国家プロジェクトについて



インドネシア政府は若年層の雇用対策として、教育や職業訓練に関する予算を拡充。失業率も高くなっている中、日本企業での就業に伴う技術・文化習得のニーズが高まっている背景から、当社グループと複数回の協議を重ねた結果、国営職業訓練校卒業生を実習生として日本へ送り出すパイロットプロジェクトを2022年10月からスタートすることに至りました。

2022/6/27

インドネシア政府職業訓練局14名の皆様 総合キャリアグループ本社ご来社



関係者全体での集合写真



浜松町本社での打合せ



労働移住省：BUDI総局長

2022/7/28

インドネシア国営職業訓練校への視察



意見交換・協議



BUDI総局長による訓練校案内

2022/10/19

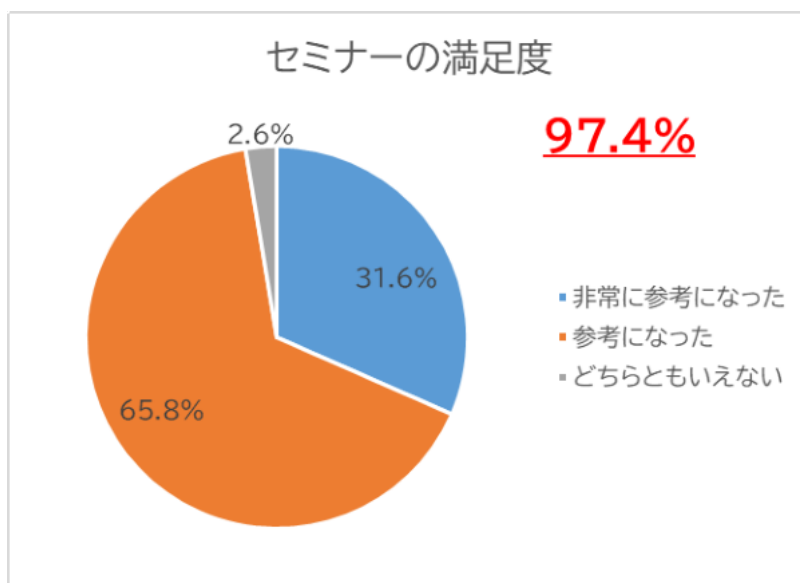
パイロットプロジェクト調印式



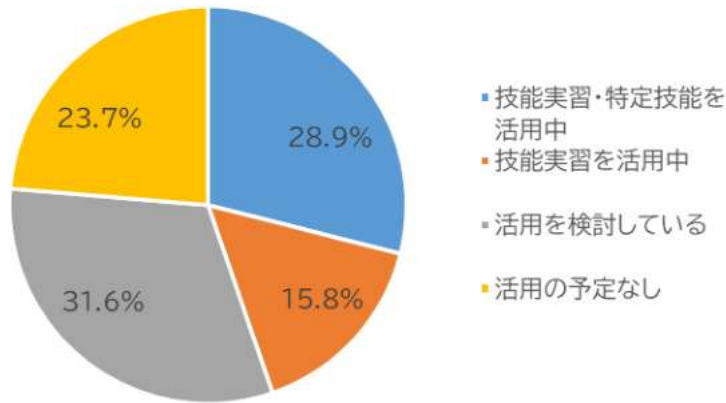
左：AP2LN BUDI会長
中：JOE協同組合 北沢代表理事
右：労働移住省 BUDI総局長

第二部では具体的にインドネシア人材の受け入れ方法の一つとして、インドネシア技能実習生受入れプロジェクトについての概要を紹介しました。国家プロジェクトとして2022年10月から運用を開始していますが、受け入れに関するリスクや対策を踏まえながら活用する際のスケジュールなどの解説も行っています。

■満足度 97.4%！海外人材活用企業からもインドネシアへ熱い注目が

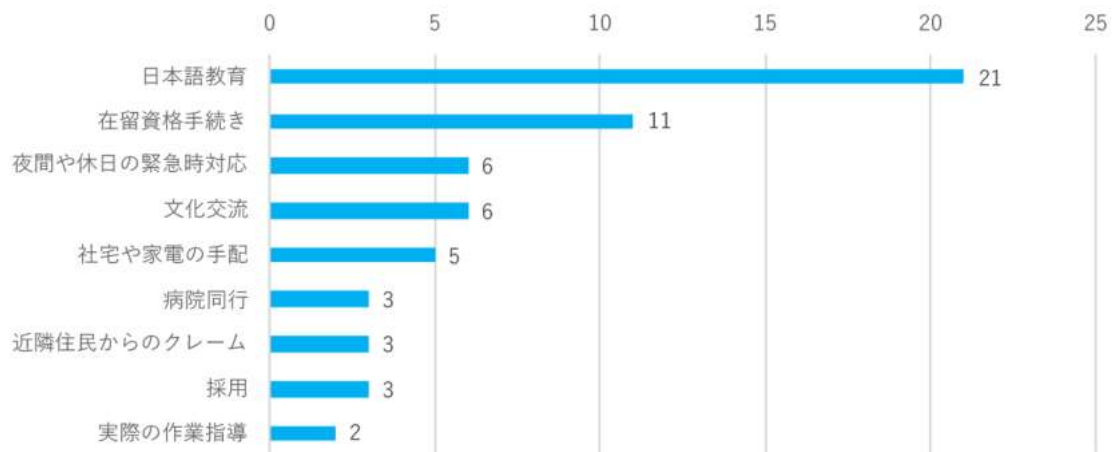


海外人材の活用状況



参加された企業様の約 45%が何かしらの形で海外人材の活用をされている中、満足度は 97.4%という高い結果となりました。それだけインドネシア人材の採用において、多くの企業が注目していることがわかりました。

外国人材活用で課題に感じていること（複数選択可）



同時に「外国人材活用で課題に感じていること」を伺ったところ、「日本語教育」を挙げる声が圧倒的に多い結果となりました。何かしらの在留資格を活用されている企業様でも、コミュニケーションに何かしらの課題を感じていることがうかがえます。続いて「在留資格手続き」が二桁を超え、海外人材の採用における諸手続きに何かしらの不安や悩み、煩わしさなどを抱えていることがわかりました。

また、アンケートでは以下のご意見・ご要望も寄せられました。

「海外人材の採用にあたっては、その国のことを深く知る必要を感じた」

「インドネシアの方々の日本語力の高さと真面目さを感じ、活用もありかと思った」

「自社にインドネシアからの受け入れ実績がなかったので参考になった」

また、実績紹介などにおいても貴重なご意見をいただきました。質疑応答で寄せいただいたご意見・ご要望は、今後のセミナー企画や運営で参考にさせていただきたいと思えます。

■注目の GMS セミナー

キャムテックでは、海外人材マネジメントサービス【GMS】のセミナーを定期的で開催しております。より具体的、現場に即したテーマで開催して参りますので、ぜひご参加ください。

<https://gms.ca-m.co.jp/archives/seminar/>